



パラジウムの良さを理解して扱えば市場は広がるはずです
ジュエリーコーディネーター：上村道

パラジウムが、新しい白金族素材として可能性のある地金である事を理解し、「正しく伝えること」が重要です。消費者に最も近いセールススタッフがパラジウムのことをきちんと理解したうえで販売にあたらないと、セールスの過程で、消費者に「悪意の無い嘘」をついてしまう事になりかねません。

新しい素材が現れると、つい飛びついて「売り」に走る傾向がありますが、後々問題にならないよう、しっかりと勉強して扱って欲しいと考えています。

また、ややもすると、プラチナの代替品として、「価格が安いからいかがですか」という売り方をしてしまうこともあるようですが、それは「あるべき姿」だとは思えません。

パラジウムジュエリーを「プラチナの安価な代替品」と位置づけて流通させてしまうと、結果的に、プラチナ対パラジウムという構図が生まれ、グロスとしてのジュエリー市場を縮小させてしまいかねません。パラジウムジュエリーが新しい市場作りに貢献するのでなければ、業界にとっては、結局、マイナスに作用することになってしまうのではないのでしょうか？

私自身は、パラジウムの最大の魅力は、比重の小ささから来る「軽さ」だと考えています。その視点から見ると、銀座・和光さんにおける、パラジウムジュエリーの売り場作りは魅力的です。

パラジウムの軽さを活かしたデザイン性の高いネックレスは、「見た目のボリューム感は欲しいが、重いものは肩が凝るからイヤ」という大人の女性の目を惹きつけるはず。また、大人の女性の中には、「本物が欲しい」という根強いニーズもあります。白金族に属し、立派な「本物の貴金属」であるパラジウムジュエリーは、その点でも訴求力があります。

プラチナ対パラジウムという構図ではなく、パラジウムの良さを理解して強調すれば、新しい市場作りにつながるはずです。

例えば、PGIでは、「ロング」で「スキニー（細身）」といったキーワードのもと、スレンダーでスリムなプラチナ製のロングネックレスをアピール、プラチナの良さを活かした企画を打ち出しています。ボリューム感たっぷりのジュエリーを着けたい日もあれば、華奢で繊細なジュエリーを着けたい気分の日もある…。それが「オンナ心」ですから、市場に二つの大きな流れがあっても両立するはず、というのが私の考えです。

さらに、製造に関して、一つのメーカーが技術を囲い込むのではなく、多くのメーカーが様々な技術を共有していかないと市場は広がりません。新しい素材だけに、業界が協力し合って、パラジウムの良さを活かした、消費者にとっての「より良いもの」作りをしていく事が求められています。

消費者に「何故プラチナ？ 何故ゴールド？ 何故パラジウム？」と聞かれた時に、そのジュエリーがその素材で作られている理由(わけ)を、しっかりと答えられるようにすること。それが、多様な素材が共存共栄するための、重要なポイントだと考えています。

ピンクゴールドやイエローゴールドと組み合わせたコンビ製品の開発を昨年対比で売上げが50%アップしています
和光のパラジウムジュエリー



和光：宝飾部 岩沙直樹部長

2010年の暮れに和光の宝飾売場で大々的にパラジウムジュエリーコレクションをお披露目したのを皮切りに、ネックレス、ブレスレット、ピアスなど装身具類のパラジウムジュエリーを、販売しております。

パラジウムジュエリーの品揃えも、当初の16モデルから現在の40モデル以上にまで増やしてお客様のご要望に応じています。今年は更にラインアップを増やして50モデル以上にしたいと思っております。お蔭様でバリエーションを増やしたことで、昨年対比で50%売上げは伸びています。和光のお客様に合わせて10万円以上のパラジウムジュエリーが、よく売れている価格帯です。

今年の春から夏に向け、新しい試みとしてパラジウムジュエリーの白さを強調する為に、ピンクゴールドやイエローゴールドとの組合せによる10万円から30万円のネックレスの新製品を開発したいと考えております。パラジウムジュエリーの新しいテイストのバリエーションを増やす事によって、お客様の選択肢が広がると思います。



「2013年のパラ」 新たなる可能性をひめた

消費者にジュエリーの選択肢を増やす事によりジュエリーを目的に、2012年3月に設立された国際パラジウム協会(本と謳って活動を展開し、順調に市場を創り上げてきた。

同協会のテーマとなっている「次なる自由へ」の取り組みとし知識をジュエリー業界に伝えるための講演やセミナーを通じて2013年度の「次なる自由へ」の取り組みは「共想・共創」。一協会の対応だけでは限界があり、「新たなる可能性を秘め企業の力を借りることで、ともにパラジウム・ジュエリーの未来消費者の最大の関心事は、ジュエリーはあくまで身につけてくれる企業との前向きな関係がこれからの時代のあり方と考

パラジウム純度990のマリッジリング『Tous Les Deux(トゥ・レ・ドウ)』

パイロットが100店舗で好評発売中



筆記具のトップメーカー(株)パイロットコーポレーション(本社：東京)は、プラチナと同じ白い輝きを持ち、ライトな感覚で身につけられるパラジウムのペアリング『Tous Les Deux(トゥ・レ・ドウ)』を開発、2012年7月から発売を開始した。発売してから約5ヶ月で100店舗の取扱店が誕生した。

このPILOTパラジウムジュエリー『トゥ・レ・ドウ』は、フランス語で「いつも二人」という意味で、「パラジウム純度が99% (Pd990)であること」及び「鍛造製法により製造している」という他のパラジウムジュエリーメーカーに無い大きな特長を持っているマリッジリング。自社工場の技術開発によって生み出された高硬度のオリジナル素材を使用している。

パイロットコーポレーションは、長年にわたって万年筆の製造で培った貴金属合金の製造技術や高度な加工技術で、次々に新しい素材と斬新な製品を創り出している。パラジウム製品にもこれらの技術が生かされ、Pd990というピュアな素材から成る、ビッカース硬度Hv200の高硬度で耐久性に優れた『トゥ・レ・ドウ』が誕生した。

なお、パラジウムはプラチナと同じ安定した白金族の貴金属であり、変質変色の心配が少ない。比重がプラチナの約半分と軽いため心地よく身につけることができるなど、多くの特長を持っている。

パイロットコーポレーションはこのパラジウムリング以外にも、エレガントなデザインからクラシカルなデザインまでのブライダル・リング・コレクション5ブランドを有し、全国の宝飾店で展開している。

『トゥ・レ・ドウ』には、今年の春から夏にかけてキャストによる製品が新たに加わる予定で、さらなる販売の拡大が期待される。

NINA RICCI



AIR エール
リング K18 199,500円

エスジェイ ジュエリー 株式会社 03-3847-9903 www.sj.co.jp/ninaricci/

www.kuwayama.co.jp



Arabesque

第24回国際宝飾展 IJT 2013
Booth No. A2-17

心と夢を、輝きでむすぶ
Kuwayama

〒110-0015 東京都台東区東上野 2-23-21
TEL: 03-3835-7231 FAX: 03-3839-6024